

なりたの自然の概要

私たちのふるさと成田市は、千葉県の北部中央に位置する中核都市であり、北は利根川をへだてて茨城県と、西は県立自然公園に指定されている印旛沼、東は香取市と接しています。

成田市の西部には根木名川、東部には大須賀川が流れ、それらを取り囲むように広大な水田地帯や肥沃な北総台地の畑地帯が広がっています。北部から東部にかけての丘陵地には工業団地やゴルフ場が点在し、南には日本の空の表玄関・成田国際空港があります。

成田市やその周辺の地域は、数千年前に入り江となっていた場所で海面の後退とともに細く伸びた谷となり、「谷津（田）」と呼ばれ昔から農地などとして利用されてきました。この谷津と丘陵が接する場所では、地元で「しぼり水」と呼ばれる湧水が多く見られ、人々が農業用として利用してきただけではなく、湿性環境に生育する植物や、カエルなどの両生類、ホタルなどの昆虫類、水飲み場や休息地として利用する鳥類やほ乳類などの生息環境としても重要です。

成田市の植生はヤブツバキクラスに属し、温暖な気候やなだらかな地形という立地条件から、全域にわたり古くから人々に利用されてきました。特に、利根川や印旛沼沿いの低地帯や谷津周辺は水田として、北総台地上部は畑地として、そして、丘陵斜面は用材林や薪炭林としての土地利用が行われてきました。

このような様々な自然環境が存在する成田市において、平成 26 年から平成 27 年にかけて実施した動植物生息調査の結果、植物は 139 科 929 種、ほ乳類は 7 科 8 種、鳥類は 32 科 72 種、両生類・は虫類は 9 科 11 種、昆虫類は 216 科 1,355 種、底生生物は 11 科 13 種、魚類は 5 科 16 種が確認されました。

土地の利用状況としては、台地上部は畑地やスギなどの植林、丘陵斜面は雑木林、低地部や谷津は水田として利用されており、これらの地形に適応した土地の利用が、成田市の基本的な郷土景観、原風景を作り出しています。



成田市には谷津田が多く、おもに水田として利用されている

なりたの生態系ピラミッド

高次消費者
(肉食動物)



餌となる生き物を下に、餌を食べる生き物を上に並べて図にすると、餌となる生き物の数が多く、形が三角形になることから、これを生態系ピラミッドと呼びます。

成田市には、水田や河川を中心とした水域環境、草地や樹林地、市街地を中心とした陸域環境が存在し、各環境には様々な生き物がすんでいます。

生産者である植物を基盤として、これを食べるバッタなどの草食動物、草食動物を食べる肉食動物がいます。このピラミッドの頂点にはオオタカなどの猛禽類や、タヌキなどの中型ほ乳類が位置しています。

三次消費者
(肉食動物)



二次消費者
(肉食動物)



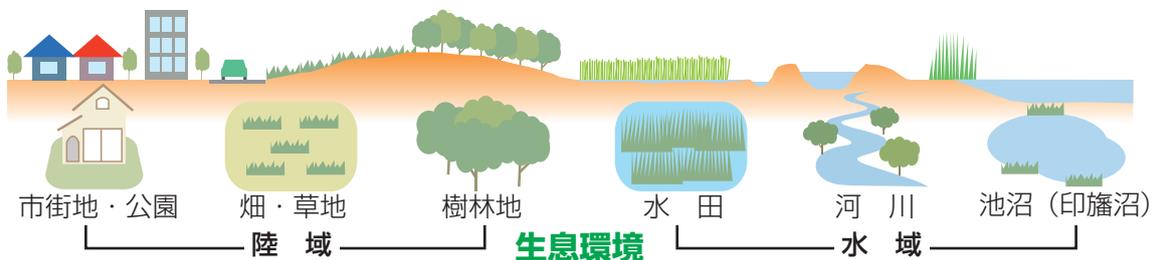
一次消費者
(草食動物)



生産者
(植物)



分解者
(土壌動物など)



22 地区の特徴

成田市を、地形や植生、土地利用区分などから 22 地区に区分しました。

成田市の北部から西部に位置する「1 根木名川下流域」「2 根木名川中～下流域」「17 浄向川流域」などの地域では、川沿いを中心に水田が広がっています。

「14 尾羽根川流域上流（旧大栄町地域）」「20 大須賀川上流域」「22 栗山川流域」など、中央部から東部、南東部にかけて広がる北総台地上部には畑地やスギなどの植林、丘陵斜面には用材林や新炭林として使われていた雑木林が多く見られます。また、台地と低地の境界部には複雑な谷津田が形成されています。

南西部から南部にかけては、「11 印旛沼周辺域」などの印旛沼に近い低地部で一部水田が見られますが、全体的には市街化が進んだ地区です。特に「8 成田空港周辺域」を中心とした、南部の東半分は成田国際空港の敷地が、その大半を占めています。

地区番号	地域名	特徴
1	根木名川下流域	水田が広がる
2	根木名川中～下流域	
3	根木名川中流域	住宅地などの市街地が広がる
4	根木名川上流域	水田が帯状に分布し、周辺の丘陵地には樹林地や畑地が広がる
5	尾羽根川流域	
6	荒海川流域	
7	取香川流域	
8	成田空港周辺域	成田国際空港の周辺に樹林地が広がる
9	十日川流域	住宅地などの市街地が広がる
10	小橋川流域	
11	印旛沼周辺域	水田が広がる
12	江川流域	川に沿って水田が分布し、周辺の丘陵地には樹林地や畑地が広がる
13	根木名川下流域 (旧下総町地域)	水田が広がる
14	尾羽根川流域上流 (旧大栄町地域)	畑地が広がる
15	尾羽根川流域下流 (派川根木名川周辺)	畑地や樹林地が広がる
16	境川流域	地区の中央に水田が広がり、その周辺は樹林地となっている
17	浄向川流域	水田が広がる
18	大須賀川流域 (天昌寺川周辺)	水田が帯状に分布し、周辺の丘陵地には樹林地や畑地が広がる
19	大須賀川流域 (下田川周辺)	
20	大須賀川上流域	
21	大須賀川下流域	西部には広いゴルフ場などの人工草地があり、東部は川に沿って水田が広がる
22	栗山川流域	畑地が広がる



0 500 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000m

